

# 5. 「企業市民活動推進センター」事業

— コンサルテーション、社員・組合員のV体験、NPOとのコーディネート

「企業市民活動推進センター」(Center for Corporate Citizenship, CCC)は、日本生命財団の助成を受けて、1991年に開設。以来、「企業市民」活動(いわゆる、企業のCSR推進、社会貢献活動)の専門推進機関として活動している。

主な機能は、①CSRを含む「企業市民」活動全般のコンサルタントと研究会の開催、②社員・OB等の市民活動支援のための総合的支援・プログラム提供、③NPOと企業(人)のパートナーシップ作りのためのコーディネート、④社会的責任に関するNPO/NGOからの発信を柱に事業を進めている。

2013年度以降、社員ボランティア活動に新たに取組みたい、社員で寄附を集めたので寄附先を紹介してほしいという相談が微増しており、各企業のCSR方針や社会貢献活動のねらいに応じて、実行に移せるよう、具体的な活動先・支援先をコーディネートすることを重視している。

## 1. コンサルテーション事業

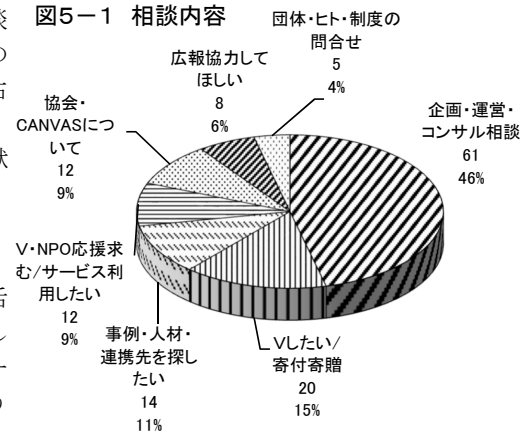
企業市民活動推進センター(CCC)は、企業市民活動の活性化を通じて、社員に自己実現の機会を提供し、NPOを通じて地域社会を活性化させ、企業市民活動に熱心な企業への社員や地域社会(顧客)の共感を高めるコーディネート機関・ファシリテート機関として、以下のようなニーズにそれぞれ応えている。

### (1) 企業市民活動推進センターへの相談対応

2016年度にセンターが受けた相談内容を図5-1で示す。相談件数は132件(15年度154件)であった。そのうち企業からの相談は、116件(同121)で全体の87.8%(同78.6%)を占める。労働組合からの相談は6件だった。

相談内容は、大きく三分され、一つは企業等がCSRや社会貢献活動を推進するうえでの企画・コンサルティング相談(61件、46.2%)、次にコーディネート(つなぐ)相談46件(34.8%)、最後に、協会事業等の問合せ他(25件、18.9%)である。このうち、コーディネート相談の主な例は、「社員有志でボランティア活動をしたいので活動先の紹介を」「〇〇に取り組む団体に寄附をしたい」といった内容で、相談者がつながりたい相手をコーディネーターが探し、提案している。なお、「ボランティアしたい」という相談は初めて窓口を利用する企業・労組が多く、「企画・コンサル相談」などは関係性のある企業からのものが多い。

図5-1 相談内容



相談内容(相談者の主訴)例	対応プロセスと結果
【ボランティア活動先をつなぐ】週末の1日、複数の高齢者施設で利用者とかかわりがもてるボランティア活動に社員が取り組みたい(賛助企業からの相談)。	複数の面談を重ね意向を確認し、企画を練った。最終的には、節型・地域生活支援型合せて6カ所の高齢者施設をつなぐ。144人の職員が参加され、多くの職員が満足のいく活動ができた喜びの声が届けられた。
【寄贈先をつなぐ】複数の営業所で社員の置き傘などで持ち主不明や忘れ物の傘が多数ある。有効活用してもらえる非営利団体に寄贈したいので、寄贈先を紹介してほしい。	面談の後、複数の非営利組織に照会をかけ、置き傘システムを開発しようとしている大学の学生プロジェクトと、こども支援のNPOをつないだ。大学への寄贈には、寄贈の当日も立ち合い、またこども支援NPOへも無事寄贈いただくことができた。
【講師をつなぐ】ある商品の販売に関連して、関連する社会課題の社員の関心が高まっている。その分野で講演してもらえる非営利組織を紹介してほしい。(賛助企業の労働組合からの相談)	面談して趣旨を確認。趣旨に合う複数の団体を紹介。その中から1つの団体の代表と、大阪ボランティア協会の職員による2つの講演が実現した。

### (2) 企業市民活動推進の企画への助言やコンサルティング

企業市民活動推進センターでは、社会貢献プログラムの企画助言や事務局受託、専門員派遣なども行っている。

**① 市民活動団体への助成プログラムの事務局受託**

実施企業	業務内容	業務概要
積水ハウス(株)	「マッチングプログラム」(第12回)の助成事務局受託およびアドバイザー就任	市民活動団体への助成プログラムの協働事務局を受託。アドバイザーに永井事務局長が就任。プロジェクト助成に29件、基盤助成に2件に総額 2,654 万円を助成。
阪急阪神ホールディングス(株)	第8回「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」助成プログラムの助成事務局受託	09 年度から開始した「未来のゆめ・まち基金」市民団体助成プログラムの助成事務局を受託。設計や選定事務に協力。16 団体(部門 I 10 件、部門 II 6 件)に総額 880 万円を助成。

**② 企業と市民活動団体の協働事業の広報協力受託**

実施企業	業務内容	業務概要
阪急阪神ホールディングス(株)	阪急阪神未来のゆめ・まち基金「ええまちづくり隊 2017」広報協力	15 年度から開始した「未来のゆめ・まち基金」の過去助成団体と協働して取り組む「ええまちづくり隊」の広報に協力。活動希望者層への PR や支援センター等へ周知などを行った。

**③ 社員ボランティアの活動コーディネートの企画受託**

実施企業	業務内容	業務概要
大日本住友製薬(株)	「大日本住友製薬株式会社 10 周年社会貢献活動」のコーディネートに関する業務受託	2015 年 10 月 1 日に合併 10 周年を迎えるにあたり、記念事業として 2016 年 9 月まで社会貢献活動を実施。協会は福祉に係わる活動のプログラムコーディネートを企画受託。大阪 16 か所、東京 8 か所、千葉 1 か所、埼玉 1 か所、横浜 1 か所、新居浜 3 か所、鈴鹿 4 か所、札幌 3 か所、名古屋 2 か所、広島 2 か所、福岡 2 か所の施設・団体をつなぐ。

**④ NPO の組織基盤強化の企画受託**

実施企業	業務内容	業務概要
武田薬品工業(株)	武田薬品工業株式会社の NPO の組織基盤強化業務受託	関西の保健医療分野 NPO の組織基盤強化とネットワーク形成を目的に 2016 年 10 月より 4 団体の NPO に対して、課題の共有とファンドレイジングをテーマにプログラムの実施など伴走型企画を受託。

**⑤ 労働組合のボランティア講座の企画受託**

日程	実施団体	講座内容	参加人数
5 月 20 日 ～22 日	キリングループ労働組合協議会	①手話入門体験、②車いす体験、③視覚障害者の理解と手引き体験、④施設活動体験、⑤ボランティア講座の 5 プログラム	のべ 80 人
7 月 23 日	小野薬品労働組合	①講演「働き盛りのがん」、②活動紹介「がん患者や家族をサポートするボランティア」の 2 プログラム	54 人

**2. 教育・研修・研究事業****(1) 社員向けボランティア講座の受託開催、および企業関連の講師派遣依頼**

2016 年度にセンターが企画・進行の委託を受けた講座件数はのべ 7 件(15 年度 5 件)だった。また企業や労働組合等からの講師派遣依頼は 11 件(同 8 件)あり、企業市民活動や CSR 等のテーマでの依頼は 3 件(同 3 件)だった。

**(2) 「フィランソロピー・CSR リンクアップフォーラム (PCLF)」の企画運営**

本フォーラムは、企業の社会貢献担当者や CSR 担当者が 2 か月に 1 回、CSR やフィランソロピーにまつわるトピックスについて学び、議論を行うもの。2016 年度の PCLF は、定例フォーラム全 6 回のうち、4 回は年度テーマである「CSR コラボレーション」を軸に学んだ。年度テーマやテーマを何にするか、講師を誰にするかなどの企画は、幹事会を中心にフォーラム会員自らが企画を進めているのが特長である。

**① 2016 年度の会員企業・団体**

16 年度の会員企業・団体数は 35 社・団体(15 年度 40 社・団体。顧問・当協会含むと 42)で、企業 29 社、中間支援 NPO 6 団体であった。

【企業(29 社)】 ※幹事会員(7 社)は★印

伊藤ハム(株) / SCSK(株) / 大阪ガス(株)★ / 大阪商工信用金庫 / オムロン(株) / ㈱カネカ / 関西テレビ放送(株)★ / 関西電力(株)★ / 近畿労働金庫 / ㈱神戸製鋼所 / ㈱シャルレ / 住友生命保険(相)★ / 積水化成成品工業(株) / 積水ハウス(株)★ / ダイキン工業(株) / 大同生命保険(株) / 大日本住友製薬(株) / ㈱高島屋 / 田辺三菱製薬(株) / 西日本高速道路(株) / 西日本旅客鉄道(株) / 日東電工(株) / 日本テクノロジーソリューション(株) / パナソニック(株) / ㈱阪急阪神百貨店★ / 阪急阪神ホールディングス(株)★ / ㈱マンダム / 三菱商事(株)関西支社 / ㈱YUIDA(元・シータス&ゼネラルプレス(株))

【中間支援 NPO(6 団体)】

(社福)大阪市社会福祉協議会 / (社福)大阪府社会福祉協議会 / (特活)ジャパン・プラットフォーム / (社福)兵庫県社会福祉協議会ひょうごボランティアプラザ / (公財)ひょうごコミュニティ財団 / (特活)わかやま NPO センター

※2015年度末で退会したのは、(株)NTTデータ関西、シャープ(株)、(特活)関西NGO協議会、(特活)トゥギャザー、(特活)日本NPOセンター、の2社・3団体。

## ② 定例フォーラム

16年度も偶数月に開催し、年6回、のべ参加者数は235人(15年度は269人。協会・講師等を含む)であった。「CSRコラボレーション」を学ぶとともに、隔年で実施することとなった合宿形式によるフォーラムも実施し(10月)会員の親睦を深めた。フォーラムの運営では、幹事会メンバー以外の会員企業に会場を提供してもらったり、グループワークの発表を担ってもらったり、会員企業・団体の出番を増やすよう取り組んだ。



対話型で進められるフォーラム

回/日	会場	重点テーマとの関連	テーマ	話題提供・講師(敬称略)	参加
49回 (4/12)	阪急電鉄	NPOとの協働	【CSRコラボ】企業とNPOのコラボレーション～異なるセクターが協働する意味・価値とは～	①永井美佳(当協会 事務局長) ②相良有希子(阪急阪神ホールディングス(株)・人事総務室 総務部 社会貢献担当 課長)	46人 (22社・団体)
50回 (6/14)	CANVAS谷町	トピックス	【ホット 이슈】熊本地震に対し企業が出来ることは～関西から出来ることを考える～	①頼政良太(被災地NGO協働センター 代表) ②岡村こず恵((福)大阪ボランティア協会 事務局次長)／東 俊裕(被災地障害者センターくまもと 事務局長)	34人 (20社・団体)
51回 (8/9)	近畿ろうきん	行政との協働	【CSRコラボ】企業と行政のコラボレーション～公民連携で社会課題の解決をめざす～	①東口勝宏(大阪府 公民戦略連携デスク チーフプロデューサー) ②黒瀬陽一((株)セブンイレブン・ジャパン オペレーション本部 関西ZO総務担当マネジャー)	44人 (19社・団体)
52回 (10/28～29)	大阪ガス奥池ロッジ ★合宿	協働によるイノベーション	【CSRコラボ】さまざまな主体とのコラボレーションによってソーシャルイノベーションを起こすには～社会問題解決と企業価値の創造を追い求めて～	①田村太郎((一財)ダイバーシティ研究所 代表理事) ②村井琢哉((特活)山科醍醐こどものひろば 理事長) ③中川悠((株)チュラキューブ 代表取締役)	30人 (12社・団体)
			2020年代の企業のCSR・CSV・社会貢献担当者に期待されること～日本におけるメセナ・フィランソロピーの歴史と未来予測をふまえて～	出口正之(国立民族学博物館 教授、当フォーラム 顧問)	
53回 (12/13)	大阪ガス本社	評価	【ホット 이슈】CSR・CSV・社会貢献活動の価値を、いかに評価し、生かすのか?	①鴨崎貴泰((特活)日本フェンドレイジング協会 事務局長) ②龍治玲奈(日本マイクロソフト(株))	45人 (22社・団体)
54回 (2/14)	大同生命本社ビル	協働企画づくり	【CSRコラボ】はじまりのはじまりをいっしょにつくる～りそなグループのCSVプラットフォーム REENAL(RESONA+REGIONAL)～	藤原明(りそな総合研究所 プロジェクト・フェロー)	36人 (20社・団体)

## ③ フォーラム・スピノフ企画

### 「熊本地震への『あいのりボランティアバスツアー』」の開催

第50回フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラムにて、「熊本地震」の現状を学ぶ緊急企画を実施したところ、会員企業から「ぜひリンクでも支援を！」と声が上がリ、会員企業の自主企画として実施。複数の企業とともに企画を実行するスタイルは、PCLFらしい実践となった。

日程：2016年7月15日(金)～18日(月祝)

内容：益城町総合体育館の避難所の環境整備、菊池市の迫龍ふれあいセンターみどりの館にてしいたけ農家の原木の立て直し作業等

参加者：5社・団体、参加者数43人



## ④ フォーラム自主ゼミ「リンクアップ・ジュニア」の開催

リンクアップフォーラム会員企業の実務担当者の自主勉強会。参加団体は14社で参加者数22人(昨年同期15社21人)。15年度は3回開催、参加者数は17社31人(昨年同期2社3人)。

- ・第77回 (2016年7月4日) ・参加者: 15人 (6社・団体)  
 テーマ: 『津波・高潮ステーション』見学と大阪ガスの『考える防災教室』
- ・第78回 (2016年9月7日) ・参加者: 10人 (7社・団体)  
 テーマ: 「いずみホール『障害者・介助者の人たちを招待する夢コンサート』身障者接遇講習会」
- ・第79回 (2016年12月16日) ・参加者: 6人 (4社・団体)  
 テーマ: 「TSURUMI どもホスピスの視察」

⑤「リンクアップフォーラム幹事会」の開催

フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラムの参加型運営の要となる同幹事会に、新メンバーを2人迎え、運営の活性化を図った。また、参加が遠のいている会員に幹事会メンバーから働きかけて参加を促した。

- ・日 程: [幹事会] 2016年4月27日、6月3日、8月4日、7月8日、7月21日、9月5日、9月29日、11月9日、12月21日、2017年1月12日、2月28日、計11回
- ・内 容: 定例フォーラムの企画運営、会員企業・団体へのフォローと新入会員勧誘等
- ・メンバー: 大阪ガス(株)、関西電力(株)、関西テレビ放送(株)、住友生命保険(株)、積水ハウス(株)、(株)阪急阪神百貨店、阪急阪神ホールディングス(株)、大阪ボランティア協会/事務局

(3) CSR基礎研修の開催

関西でのCSR推進や社会貢献活動、CSVの取り組みに関心のある方や、ソーシャルな取り組みに関心のある方を対象に、少人数での講義およびワークショップ形式の基礎研修を実施。3年ぶりの開催。

日 程: 2016年10月5日、19日、11月10日、24日

会 場: 市民活動スクエア「CANVAS谷町」

参加者: のべ189人(実数42人)、のべ105社・団体(実数21社・団体)

主 催: 大阪ボランティア協会 企業市民活動推進センター 協 力: フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム



<カリキュラム>

日程	時間	演題	講師・話題提供者(敬称略)	参加人数
10月5日(水)	13:20~15:20	【第1講】大阪経済人の社会文化貢献活動	・宮本 二郎 (大阪大学名誉教授、大阪企業家ミュージアム館長、経済学博士)	31人 (16社・団体)
	15:30~17:30	【第2講】CSRの考え方と展開/CSR・CSV・社会貢献担当者になってみて	・早瀬 昇 (当協会 常務理事、(特)日本NPOセンター 代表理事) ・中野伊津子 (大阪ガス(株)地域共創部門近畿圏部ソーシャルデザイン室係長) ・林 由以子 (大阪商工信用金庫CSR推進室 課長代理) ・森田 聖子 (住友生命保険相互会社 大阪広報センターサブリーダー)	19人 (13社・団体)
10月19日(水)	13:20~15:20	【第3講】「攻め」のCSR展開①/社員のボランティア活動を推進する事業を企画してみよう	・永井 美佳 ((福)大阪ボランティア協会 事務局長) ・郡 真二郎 (大日本住友製薬(株)コーポレートガバナンス部コーポレート・コミュニケーショングループ主任部員) ・中村 理恵 ((特)サービスグラント 事務局)	25人 (16社・団体)
	15:30~17:30	【第4講】「攻め」のCSR展開②/NPOを支援または協働する事業を企画してみよう	・江本 雅朗 (大阪ガス(株)人事部、元 近畿圏部社会貢献推進室長) ・南 貴美子 (大阪ガス(株)近畿圏部 南部地域共創チーム) ・外間 孝次 ((株)阪急阪神百貨店マーケティング4部 チャリティー企画部) ・和田 隆博 ((特)子どもデザイン教室 代表理事)	23人 (12社・団体)
11月10日(木)	13:20~15:20	【第5講】「攻め」のCSR展開③/コズリレーテッドマーケティング(CRM)に取り組んでみる	・楠 正吉 ((福)大阪ボランティア協会 CRM研究会) ・橋本 勲 ((株)glass 代表 ディレクター、編集者)	19人 (13社・団体)
	15:30~17:30	【第6講】社会の困りごと、今日的な社会問題(福祉、子ども、国際、環境)と市民活動の取組みについて知ろう	・岡崎 寛 ((特)プール・ボランティア理事長) ・織田 智子 ((特)プール・ボランティア事務局長) ・村井 琢哉 ((特)山科醍醐こどものひろば 理事長) ・横山 浩平 ((公社)アジア協会アジア友の会 海外プロジェクト担当) ・村上 竜太 (箕面の山パトロール隊 事務局長)	21人 (17社・団体)
11月24日(木)	13:20~15:20	【第7講】社会の困りごと、災害救援・復興支援活動について知ろう	・岡村こず恵 ((福)大阪ボランティア協会 事務局次長) ・広瀬 雄樹 (積水ハウス(株)コーポレート・コミュニケーション部 CSR室長) ・湯井恵美子 (防災企業連合 関西そなえ隊事務局) ・笠井 文廣 (防災企業連合 関西そなえ隊隊員、(株)タカオカ 取締役営業部長)	10人 (10社・団体)
	15:30~17:30	【第8講】ワークショップ~具体的な取組みを企画してみよう	・相良有希子 (阪急阪神ホールディングス(株)、兼 阪急電鉄(株)総務部 社会貢献担当課長) ・永井 美佳 ((福)大阪ボランティア協会 事務局長)	9人 (8社・団体)

**（４）「ウメキタ朝ガク（うめきたソーシャル朝活）プロジェクト」の開催支援**

梅田周辺で働く人々がその生活圏である地で、新しい社会貢献・地域貢献を創り上げるための交流の場づくりとして“ウメキタ朝ガク（うめきたソーシャル朝活）”を開催。積水ハウス、大阪ガスなどの協力を得て、緩やかなネットワーク体で企画を実施。当協会は、当ネットワークの事務局を担っている（企画連携：大阪を変える100人会議、会場提供：大阪ガス㈱エネルギー・文化研究所 都市魅力研究室）。2016年度はのべ247人の参加があった。

回	テーマ、登壇団体名	日程	参加者数
31	バリアの向こう側～車いすのボクがみんなにかける”人生を豊かにする”魔法～(大内秀之)	2016年4月21日	20人
32	若年無業者の就労支援～ソーシャルデザインで社会課題を解決(NPO 法人スマイルスタイル・塩山 諒)	2016年5月26日	19人
33	カンテレの守りと攻めのCSR事例、TVの新しい発信を考える(関西テレビ CSR推進部・塩川恵造)	2016年6月23日	24人
34	そこからしか見えない景色 ～がん経験者の視点を社会に活かす～(ダカラコソクリエイト・谷島雄一郎)	2016年7月1日	30人
35	1人ひとりが輝くまちづくりとは？～北区のこれからと行政・市民・企業のつながり方～(大阪市北区長・上野信子)	2016年8月25日	33人
36	秋だね!大人のソーシャル朝ガク@生野コリアタウン	2016年9月22日	15人
37	子ども食堂を越えて行こうよ!? ～今話題の子ども食堂ってどういう活動?～(桃谷子ども食堂/一般社団法人つなぐ・尾関泰輔)	2016年10月27日	25人
38	災害救助犬ってご存知?(認定NPO法人日本レスキュー協会・今井雅子)	2016年11月24日	10人
39	熊本大震災、これからは?(忘年会)(熊本県大阪事務所)	2016年12月22日	15人
40	音なき声を社会に 聴覚障害者の価値を届ける Silent Voice の挑戦(株式会社サイレントボイス・尾中友哉)	2017年1月26日	17人
41	毎日元気に頑張りたいビジネスパーソンに!～楽しみながら続ける健康づくりのススメ～(認定NPO法人健康ラボステーション・浦田千昌)	2017年2月23日	18人
42	イベントから、祭りへ～市民参加で面白く、持続可能なコト起こし～(一般社団法人テラ・プロジェクト・小林昭雄)	2017年3月23日	21人